

執筆者紹介(掲載順)

- 高橋 哲雄 本学名誉教授
片山 隆男 本学経済学部教授・副学長
福家 俊彦 天台寺門宗教学部長・総本山園城寺執事
酒井 一 奈良大学教授・三重大学名誉教授
成田 孝三 本学名誉教授
山本 殖生 新宮市教育委員会学芸員
小田誠太郎 和歌山県教育庁文化遺産課世界遺産班班長
須賀 博樹 青山学院大学大学院文学研究科
博士後期課程満期退学
- 孫 飛 舟 本学総合経営学部助教
吉田 昭二 古銭収集家
小田 忠 本学商業史博物館学芸員
池田 治司 本学商業史博物館学芸員
金坂 清則 京都大学大学院人間・環境学研究科教授
- 運営委員(五十音順)
- 石上 敏 本学経済学部教授
瀧澤 秀樹 本学経済学部教授
中野 安 本学総合経営学部教授・当館館長
西村多嘉子 本学総合経営学部教授
林 妙 音 本学総合経営学部助教

編集後記

今年当館では五月二三日～六月一三日にかけて、「富札展 ―江戸時代の宝くじ―」を開催した。この展示会を通じて多くのことを学び、また人間関係も広がった。

今号に寄稿いただいている吉田昭二氏からは、同展示会の出品史料の多くを借用し、同氏はこの展示会の最も大きな協力者であった。収集家というのは、日ごろ実物資料を扱っているので、論ずる内容も具体的である。「私札」のひとつ「嵯峨御所札」を論じた件で、裏面上段の札図に銀二朱を示す宝珠二個が描かれ、そのまわりを百足が囲んでいるとある。ムカデは毘沙門天のお使いで、足の多いところからお足(お金)が沢山ある、人が沢山動くことを意味することを先輩から教えられたという。

そういえば、毘沙門天を本尊とする護国山天王寺の富興行を描いた『東都歳時記』の「谷中天王寺富の図」にも、大きなムカデ模様の提灯が描かれていたのをハツと思い出した。
(池田治司)

大阪商業大学商業史博物館紀要 第七号

平成一八年一月二〇日

編集・発行 大阪商業大学商業史博物館

〒577-8505 東大阪市御厨栄町四―一―一〇

☎〇六(六七八五)六一三九

印刷・製本 株式会社RPSセンター

〒537-0024 大阪市東成区東小橋二―二―二二

☎〇六(六九八一)三五三二

